

日本／フランス／イスラエル・クロストーク

## 「現代サーカスの創造性」

“Matièresマチエール”プロジェクト2023報告とともに

フランスやヨーロッパでの現代サーカス創作の様子をインバル・ベン・ハイムとドミティユ・マルタンを招いて、彼女たちの現地での創作の様子などを紹介します。

また、本年、瀬戸内サーカスファクトリーとcircusnextが共催で実施したラボラトリー「マチエール」で、現代サーカスと土佐和紙がどのようにコラボレーションできるか、実際に行った様々な実験や体験についても語ります。

日 時 2023年8月1日（火）19時-20時30分

会 場 東京日仏学院 （東京都新宿区市谷船河原町15）

定 員 30人 ／ 参加料 無料

### 登壇

◆ Inbal Ben Haim インバル・ベン・ハイム  
（イスラエル／フランス）

エルサレム出身。造形芸術を志した後フランスに渡り、フランス国立サーカス大学CNACで学び、卒業。美術と現代サーカス、その他のジャンルを横断した作品づくりは注目を集め、2021年、ヨーロッパ現代サーカスプラットフォーム「circusnext」のコンクールで大賞を受賞。

◆ 田中未知子 たなか・みちこ（日本）

北海道大学文学研究科にてフランス美術社会史を研究。新聞社事業局勤務時代の2004年、現代サーカス公演に携わり、サーカスの人々の生き方に衝撃を受ける。現代サーカス専門家を目指して退社し、2009年「サーカスに逢いたい〜アートになったフランスサーカス」を出版。2011年香川県に移住、一般社団法人瀬戸内サーカスファクトリーを立ち上げる。

◆ Domitille Martin ドミティユ・マルタン  
（フランス）

パリの国立高等装飾美術学校を卒業。造形作家、複合的な素材を使った彫刻家として、パフォーミングアートの演者が動き回る空間の舞台美術を手掛ける。彼女の手に係ると、人間だけでなく、動物・植物、鉱物なども「変貌/メタモルフォーゼ」をとげていく。Pierre Gautier-Delaye賞の大賞を獲得し、2020～2021年のパリ国際芸術都市レジデンス・アーティストとなる。

ご予約・問い合わせ：  
瀬戸内サーカスファクトリー  
観覧お申し込みはこちらのQR  
からフォームにご入力下さい⇒



<https://forms.gle/DoTjtGkLE4gbyAw48>  
フォーム入力が難しい方は、メールアドレス  
[info@scf.or.jp](mailto:info@scf.or.jp) にお名前、ご連絡先、人数を  
明記のうえ、7/31までにお申込みください。

主催：一般社団法人瀬戸内サーカスファクトリー / circusnext

助成：アンスティチュ・フランセ パリ本部、在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ

後援：イスラエル大使館

協力：Washi+ / 鹿敷製紙株式会社 / 中津万象園・丸亀美術館 / 丸亀市 / 株式会社安藤工業

